

OWL-PCB04 SATA⇔IDE 双方向変換ボード 取扱説明書

この度は弊社製品をご購入いただき、誠に有り難うございます。本製品を正しくお使い頂くために本取扱説明書を必ずご一読下さい。また製品に付属しています保証書は、販売店より日付と販売店舗の記入及び押印を頂くか、購入日が証明できるようレシートなどと一緒に大切に保管して下さい。

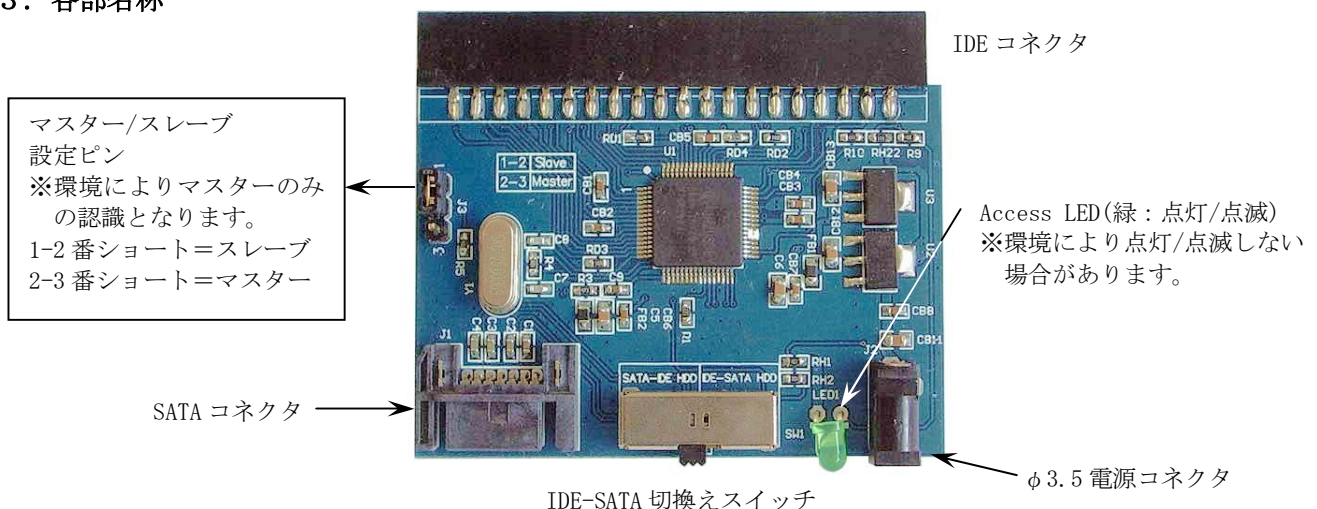
1. 警告・注意事項

- ◇ 配線の間違いや、線を金具などで挟みますとショート事故となり、機器を故障させるだけでなく、火災の発生原因になる場合があります。
- ◇ 本製品は高度な信頼性を必要とする（医療機器など）装置としての使用は避けてください。
- ◇ 電子部品は静電気に大変弱い部品です。アースを取るなどして静電気対策を行ってから作業して下さい。
- ◇ 本製品は全ての機器への適合を保証するものではありません。電気的關係が適合し組込みが完了しましても、いわゆる“相性”から本製品に接続した機器が正常に動作しない場合もあります。
- ◇ 本説明書ではパーソナルコンピュータを「PC」、ハードディスクドライブを「HDD」、オペレーティングシステム(Windowsなど)を「OS」と表現しています。同様にその他の部品などでも略号や通称を使用しています。
- ◇ 本製品を経由しての接続では、SATA II規格(3Gbps)のHDDを接続してご利用の場合でも、SATA規格(1.5Gbps)のリンク速度となります。またPC起動中にHDDなどの接続や取外しは、転送データがエラーとなる恐れや、ご利用中のPCが固まる恐れがありますので避けてください。
- ◇ 本製品でSATA HDDを接続する場合、本製品のIDEコネクタを直接マザーボードのIDEコネクタに挿入する必要がありますが、この際に周囲のデバイスなどに本製品が触れないようご注意ください。マザーボードのIDEコネクタが横向きなどの理由により、本製品が周囲に触れて使用できない場合は市販の“IDE延長ケーブル”（IDEケーブルとは違います）をお求めになりご利用ください。
- ◇ 本製品はHDDなどに信号回路のみを接続します。ご使用するHDDなどには別途電源を供給する必要があります。
- ◇ 本製品には、SATAケーブルは付属していませんので、別途弊社オリジナルケーブルをお買い求めください。
- ◇ 本製品の組込みは、PCをシャットダウンし、電源コードをコンセントから外した状態で実施してください。
- ◇ 本製品の回路や部品は絶縁保護がされていません（回路や部品が露出しています）ので、金属物質に触れると破損や焼損する恐れがあります。作業時や使用時にはビニールシートなど絶縁物を下に敷くなどの工夫をしてショート事故を防止してください。露出部分に金属等を接触させ故障した場合は保証の対象外です。
- ◇ 製品の改善などのため、予告なしに仕様の変更や、付属品の変更又は追加や削除をする場合があります。

2. 付属品



3. 各部名称



4. 本製品の取付け

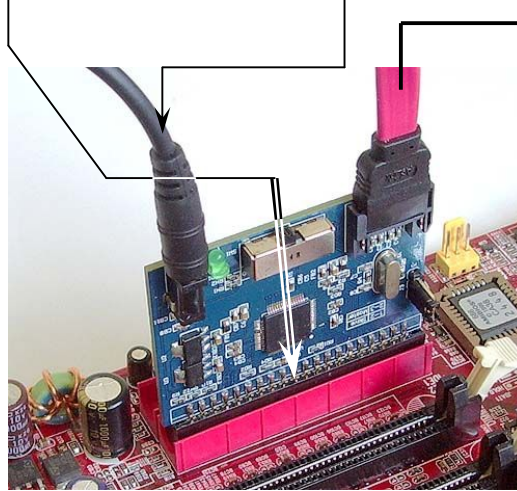
【注意】各ケーブルコネクタには方向性（極性）があります。誤挿入を防止するためコネクタの形状は工夫されていますが、素材がプラスチックのため強い力を加えると、逆方向でも挿し込める可能性があります。逆方向挿入をしますと機器破損や火災発生の恐れがありますので、コネクタの形状を確認して正しい方向で挿入してください。

4-1. SATA HDD など SATA 接続機器での使用方法

①スイッチを右にスライドさせます。

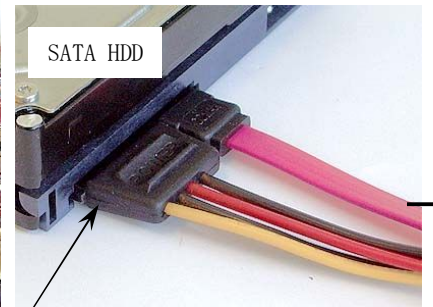


②本製品をマザーボードの IDE コネクタに挿入します。

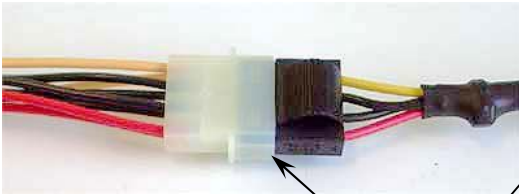


③電源ケーブルのφ3.5DCプラグを接続します。

④SATAケーブルを接続します。



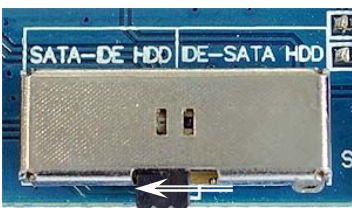
⑤電源ケーブルの SATA 電源コネクタを HDD に接続し、SATA ケーブルも接続します。



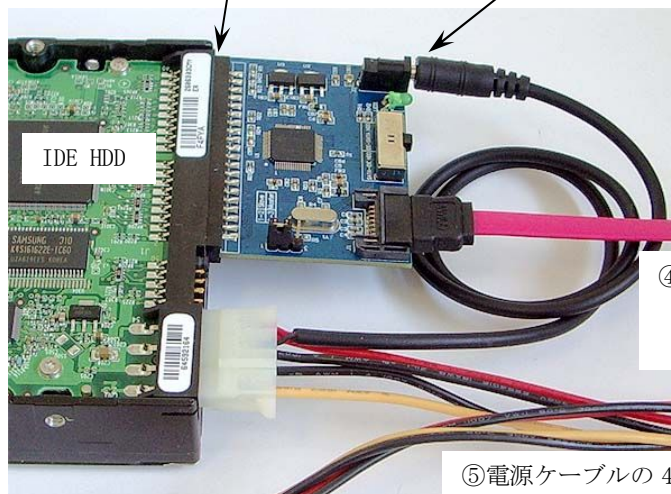
⑥電源ケーブルの 4P ペリフェラルコネクタを PC の電源コネクタに接続したら完了です。

4-1. IDE HDD など IDE 接続機器での使用方法 (IDE 機器はジャンパーピンをマスターに設定してください)

①スイッチを左にスライドさせます。



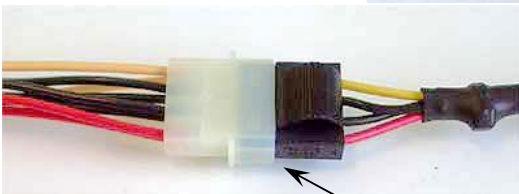
②HDD に本製品を接続します。



③電源ケーブルのφ3.5DCプラグを接続します。

④SATAケーブルを接続し、反対側もマザーボードなどに接続します。

⑤電源ケーブルの 4P ペリフェラルコネクタを接続します。



⑥電源ケーブルの 4P ペリフェラルコネクタを PC の電源コネクタに接続したら完了です。

5. ドライバーのインストール

☆本製品はドライバーのインストールは不要です、Windowsが持っているドライバーを使用しますので、接続完了後、PCを起動しますと自動的に認識し使用可能になります。

☆Windows98SE, MEはSATAインターフェイスをサポートしていませんので、本製品を使用してのSATA→IDE接続は使用できません。ただしSATA接続の環境（SATAポート増設カードなど）があれば使用可能な場合もあります。

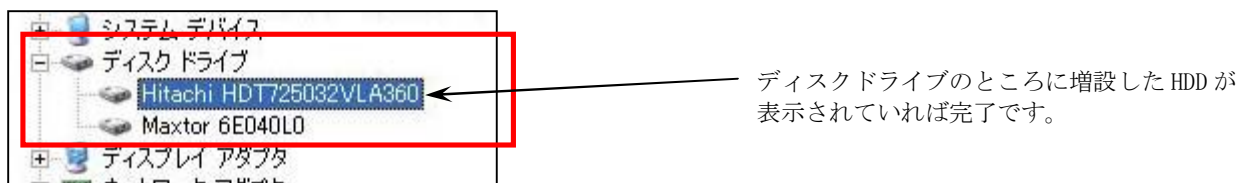
6. 組み込み完了の確認

☆ご利用OSのデバイスマネージャーを開き、本製品は以下の様な表示がされると機能上の組み込みは完了です。

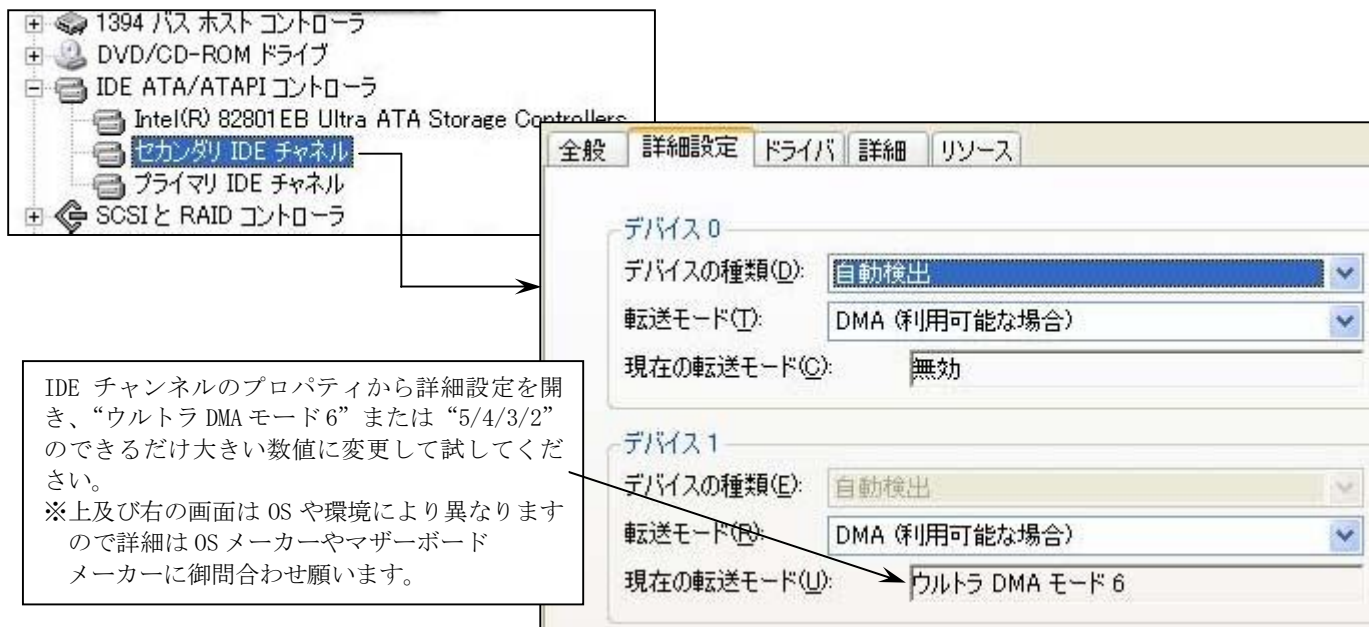
※表示方法はOSやPC環境により異なります。以下の表示を参考にして確認してください。

☆新品のHDDや未領域確保・未フォーマットのHDDはこの部分で認識されていても、マイコンピュータ上では認識しません。またWindows98SE/MEではNTFS形式でフォーマット済のHDDを認識しません。

次ページのフォーマット方法を参考に、ご利用になるOSで認識可能な環境にHDDを設定してご利用ください。



☆接続後に速度が遅いなどの問題があった場合、遅い設定“PIO モード”などで認識している場合もありますので以下の画面を参考に設定を変更して試してください。



7、未フォーマットHDDをフォーマットする方法。

【注意】

◇ 新品のHDD・未使用のHDDなどは、初期化・領域の確保やフォーマットが必要になります。各Windowsに適応したフォーマット形式でないとHDDを認識しません。特にWindowsME, 98SEでは、Windows7, Vista, XPなどでNTFSフォーマットしたHDDは認識しませんので、ご利用中のWindowsで認識可能なフォーマット形式をご使用ください。

※ フォーマット形式についての詳細は、OSメーカーにお問合せ下さい。

◇ WindowsME, 98SEで未フォーマットのHDDをご利用の場合は、先ず直接PCにHDDを組込み、起動ディスクなどを用いてFAT32フォーマットをするか、一旦WindowsXPなどに組込みFAT32フォーマット完了後に本製品に接続してください。

◇ WindowsXPを基準に解説しますので、Windows7, Vista, 2000はこの方法に準じてください。

※ フォーマットに対する不明な点は、OSメーカーに問合せください。

※ 以下の設定は、ハードウェアやACアダプタなど全ての接続が完了した後に実行してください。

①画面上またはスタートから「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」を選択します。

②コンピュータの管理画面が表示されます。

③記憶域の中の「ディスクの管理」を選択します。

④「ディスクの初期化と変換ウィザード」が表示されます。

⑤「次へ」を選択して「ウィザード」を実行します。

⑥増設したHDDが「ディスク1」・「ディスク2」・「ディスク3」等になっております。

⑦増設したHDDに「チェック」が入っていることを確認して下さい。

※「チェック」が入っていない場合は、チェックを入れてください。

⑧「次へ」を選択すると「ディスクの初期化と変換ウィザードの完了」になりますので「完了」を選択します。

⑨次に割り当ての領域にパーティションを作成します。増設したHDDは、「未割り当て」と表示されます。「未割り当て」と表示された部分を右クリックして、「新しいパーティション」を選択してください。

⑩「新しいパーティションウィザード」が起動しますので、「次へ」を選択して下さい。

⑪作成するパーティションの種類を選択します。通常、「プライマリーパーティション」を選択して、「次へ」を選択します。

⑫作成するパーティションのサイズ(容量)を指定します。

通常は、最大ディスク容量のサイズを指定して、「次へ」を選択します。

⑬使用可能なドライブ文字が、表示されます。特に変更がなければそのまま結構です。

⑭フォーマットの設定を行います。NTFSかFAT32を選択して「次へ」を選択します。

※Windows7/Vista/XP/2000のみで使用する場合は、「NTFS」を推奨します。

※FAT32は32GB以下となります(特殊な方法を用いた場合はそれ以上も可能ですが、弊社では対応していません)

⑮「完了」を選択するとフォーマットが開始されます。

※そのHDDにとって最初に行うフォーマットでしたら通常のフォーマットで実施してください(多くの場合、数時間かかります)。

※そのHDDにとって2回目以降はクイックフォーマットでも可能です。

⑯正常にフォーマットが終了したら、マイコンピュータ画面に増設したHDDが登録されます。

※フォーマット済のHDDを再フォーマットする場合は、各OSともマイコンピュータ内から本製品接続のHDDを右クリックし、メニューの中からフォーマットを選択します。

Owltech 保証書

1. 保証について

保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。無償修理規定に従った内容で無償修理いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理となります。

*データ等の保証に関しましては、弊社では一切行っておりません。必ずバックアップ等を行ってください。

*本保証書は該当製品のみ保証となります。システムと連動した場合の動作を保証する物では有りません。

*本製品は一般ユーザー向けの製品です。機器組込での再販売や業務使用での保証は一切行っておりません。その様な方法でご利用になるには予め弊社営業部までご連絡下さい。一般販売店よりご購入になり業務でご使用された場合の保証は、一般ユーザー様と同等の保証となります。

(故障修理などは販売店への持込修理となります)

*個人売買・ネットオークション等、一次購入者以外の方のサポートは全て有償となります。

*機能上差し支えない小傷・色艶減退、各デバイスとの共振音・微振動、転送速度、スイッチ感触及び、梱包箱の傷などは保証の対象外となります。

*いわゆる“相性”は保証の対象になりません。製品が不良であるとの判断は、弊社環境による検査にて不良が確認された場合のみとさせていただきます。

2. 無償修理規定


正しい使用方法に従った上で装置が正常に動作しなかった場合、保証期間内と認められた場合に限り無償修理が適用されます。また、適用範囲は装置及び装置の付属品迄で、消耗品類は除きます。

保証期間内であっても次の各項に該当する場合は保証対象外又は有償修理となります。

- マニュアルの警告や注意の無視、使用上の誤り、及び当社以外での修理、改造などを起因とする事故や故障。
- お買い上げ後の落下、不適當な取付けなど、不當な取扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（ユーザーシステムなど）にあつて、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び、購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 製品を使用できなかった事の対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。

型名/シリアルNo	OWL-PCB04		
お買い上げ年月日	年	月	日
保証期間	お買い上げ日より1年間		
保証対象	本体及び付属品		
お客様	ご氏名	保証書無効	
	ご住所		
	電話番号		
販売店	印		

- ・万一、保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い求めの販売店に修理をご依頼下さい。
- ・本保証書に販売店名、捺印が無い場合はご購入時のレシートで代用可能ですので保証書とレシートは大切に保管して下さい。
- ・本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

	<h3>株式会社オウルテック</h3> <p>〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5丁目24番1号 サポートセンター電話：046-236-3522 FAX：046-236-3521 サポート時間：10:00～12:00・13:00～18:00（土・日・祝祭日を除く） ホームページ：http://www.owltech.co.jp</p>
---	---